

# インドマザーテレサボランティア&ホームステイプログラム

今後、参加される方のために、参加レポートにご協力ください。

以下、ご記入のうえメール添付、または郵送にてCECまでご返送下さい。

ピンク色で書いてあるサンプル部分は、該当項目を残してご記入下さい。

また、お写真の添付も是非お願いします。何の場面か分かるようコメントを添えて下さい。

参加期間 2016年 2月 2日 ~ 2016年 2月 9日まで (7週間)

## 参加の動機

マザーテレサがいた施設でのボランティアを通じて、マザーテレサの活動や考えを直に学べたため。

## ホームステイ滞在に関して

家族構成: お父さん お母さん 子供(7)人 その他(おばあさん1人)

ペット: 有( ) 無( )

食事: 非常においしかった おいしかった 普通 おいしくなかった 食べられなかった

生活形態について(日本での生活と較べて異なる点、注意点など):

トイレに紙が流せない、食事の時間(夜が遅い)

## 感想:

ホストファミリーが常に気を配ってくれたので、不自由なく快適に過ごすことができました。ごはんは毎日カレーだったので、少しづつ違っていったので飽きずに美味しく頂きました。気になった点は蚊が多かったこと、ボランティア活動先まで距離があったくらいです。

## ボランティア活動に関して

活動先施設: カリガート(死を待つ人々の家) プレムダン(病気や精神障害のある患者)

シャンティダン(子供、精神障害者) ナポジボン(知的障害者) ダヤダン(健常者、障害者) シ

ンジュババン(健常孤児院、又は障害孤児院) シンジュババンハウラー(孤児、重病の女性の家)

活動内容と感想(活動期間、回数、時間等も併せてご記入下さい):

私は1週間と短かったのですが、できるだけ行き、4回ほどは行きたと思います。時間は午前の活動のせいで、8時くらいから12時まででした。毎日7時にマザーハウスに集合し、チャイナバタ・ハン等の軽食を頂いた後、それぞれの活動先に向かいました。私はシンジュババンで行っていて、活動先がマザーハウスに近かったことから、マザーハウスの掃除を行ってから活動先へ

ホームステイ先からボランティア施設までの交通手段は?

向かいました。

